



発 表 資 料	
平成 27 年 11 月 20 日 (金)	
担当課 (担当者)	観光戦略課 (浅井)
電話 (内線)	0857-20-3228 (2530)

「北前船寄港地フォーラム」

～ 平成 29 年秋の鳥取市開催が決定！！ ～

“北前船”をテーマに寄港地間の連携や地域活性化などをめざす「北前船寄港地フォーラム」が、平成 29 年秋に鳥取市で開催されることが決定しました。

本年 7 月に大阪市で開かれた「第 16 回北前船寄港地フォーラム in 大阪」において、本市と鳥取商工会議所が足並みをそろえ誘致表明していたもので、11 月 13 日開催の「第 17 回北前船寄港地フォーラム in 加賀橋立・山中温泉」で正式決定されました。

既に開催が決定していた北海道江差町 (来年秋) に加え、兵庫県淡路島 (平成 29 年春)、岡山市 (平成 29 年夏) の開催も併せて決定されました。

記

1. 「北前船寄港地フォーラム」とは

北前船の寄港地が連携し、広域観光ネットワークを通してその魅力を発信し地方創生に寄与する目的で、平成 19 年 11 月に第 1 回フォーラムが山形県酒田市で開催され、これまで 17 回開催されています。全国から文化、観光、運輸、商工など多くの関係者が集まり、講演やパネルディスカッション、現地視察を通じて、交流と寄港地間の連携が深まるとともに、主要な鉄道・航空各社、観光団体、国土交通省などの役員・幹部が一堂に会する発信力の高いフォーラムとして認知されています。

《北前船》

江戸時代中期から明治 30 年代頃まで、大阪と北海道を日本海経由で運航されていた廻船です。大阪へは昆布・鮭などの海産物、北へは塩、酒、煙草などが運ばれ、広範囲の物流ネットワーク機能で日本海側に一大経済圏を形成しました。

《フォーラムの主な出席者》

国土交通省、観光庁、JR (西日本・東日本・北海道)、全日本空輸(株)、ANA ホルディング(株)、(株)ANA 総合研究所、日本航空(株)、(公社)日本観光振興協会、全国旅行業協会、日本旅行業協会、東映(株) 等

2. “北前船”と鳥取市の関わり

各種文献に北前船の寄港地として賀露港が記載されています。

賀露神社には約 180 年前に実物の 5 分の 1 の大きさで建造され、主要な廻船問屋から奉納された北前船の模型 2 隻が保管されています。また、社殿の裏には、北前船の大いかり 2 基も納められています。

3. 今後の対応

フォーラム役員 (企画委員会)、鳥取商工会議所等と連携し、県内自治体との協力体制も見据え広く市民が参加できるフォーラムとなるよう、平成 28 年度に実行委員会を立ち上げる予定です。